

ウィークリーニュースレター33号 2024

<いよいよ49期へ突入！>

8月より株式会社豊吉は49期へ突入しました。ひとえにお取引していただく皆様のお陰でここまで来ました。実は…私の年齢が9月9日で49歳です。つまり会社と私は同い年です。

<せっかくなので49年前に振り返ってみます>

ここから書くことは私が父から聞いた話、お取引先の方の話、お得意様からのお話を人づてに聞いたことをまとめていきます。株式会社豊吉は私の叔父(父の兄)と私の父が2人で創業した会社です。2人は北海道の鹿追町という田舎出身です。子供の頃は馬に乗っていたとか裸電球の中で過ごしていたというのを父から聞きました。そんな田舎者の2人が上京して食品の商社に勤めたそうです。それが昭和37年頃?だったと思います。実は10年以上前にその会社の上司という人が事務所に来たことがあります。

その会社は名前を変えて今も食品の商社を継続していました。その時、たこ焼き用のタコが高騰していたのでその営業で訪れられました。その人の話では2人とも真面目に仕事に取り組んでいて突然独立するというお話を会社にしたそうです。独立は昭和47年頃だったそうです。(これは人から聞いた話です)

その頃からたい焼き、たこ焼き、お好み焼きの材料を扱っていました。独立した当時はまだ個人商店でした。それから3年後売上が個人商店の規模を超えたため法人登記を人に勧められて会社が出来上がりました。これが49年前の株式会社豊吉の始まりです。

私が3歳頃(昭和53年)一度会社に連れて行ってもらった記憶があります。その当時の建物は今とは違いました。今の場所から車で1分くらいはなれた掘っ立て小屋で倉庫兼事務所を構えていました。イメージ図はこんな感じです。

今、こんな建物で食品を在庫していたら嫌ですよ(笑)
こんな建物が3棟か4棟ありました。そして配達するドライバーさんが5人くらいいた記憶があります。従業員の数も今の倍くらいはいたはずですよ。

その当時のドライバーさんの助手席に乗せてもらった記憶が今でもあります。そんなこんなでスタートした株式会社豊吉に幸運が訪れます。それは来週書き綴りたいと思います。今月は株式会社豊吉の歴史に迫ります！



<今月は9月の当選番号確定！！>

2022年3月からスタートした納品書番号のおみくじです！今一度、ルールのご説明。納品書の番号が抽選対象の数字です。下の番号と一致した場合、納品書の金額から10%オフします。自動的にオフはしません。お客様から「当選しました！」とメールか電話、LINEでご連絡をいただくと確定です。**申告の締切は翌月の1日が締め切りです。「52750」「52772」「52881」最後のチェックを忘れずに！！**



株式会社豊吉 LINE 注文アカウント



キッチンカー開業セミナー



豊吉公式 Twitter



株式会社豊吉ホームページ